

トップメッセージ

デジタル革新を通じて、「人」が中心の、
より安全で豊かな持続可能な社会を共創していきます。

持続可能性を前提に、経営のあり方を柔軟に変えていくことが CSR の本質

社会やビジネスの「持続可能性」を前提として、ステークホルダーの声に耳を傾け、経営のあり方を柔軟に変えていくこと、それが企業の社会的責任（CSR）の本質だと考えます。

しかし、変わらないものもあります。それは「皆様とともに歩み、信頼を獲得し、テクノロジーにより安全で豊かな持続可能な社会を創造していく」という、富士通の約束です。私は、富士通のテクノロジーは必ず「人」を幸せにする、そう確信しています。

今、2つのトランスフォーメーションへの対応が重要であると考えます。

1つは、地球社会です。今も多くの人々が、安全な食糧や水の不足、教育や医療サービスの未整備といった問題に直面し、都市化や高齢社会により様々な問題が深刻化しています。しかし、これらの問題はこれまでの延長線上では解決できません。富士通は、国連持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、テクノロジーの力で社会をトランスフォームしていくことが、企業としての使命であると考えます。

もう1つはデジタル社会です。ICTは、日々の生活、ビジネスそして社会の隅々にまで浸透し、デジタル・トランスフォーメーションにより新たな価値を創造します。モノのインターネット（IoT）、人工知能（AI）などの進展は、人と機械が協調した課題解決を可能としていきます。しかし、一方で、データ・セキュリティや、プライバシー、雇用の減少など、新たな懸念に対応することがこれまで以上に求められます。グローバル ICT 企業の責任として、富士通は、企業活動による社会へのマイナスの影響を最小化しつつ、ビジネスを通じて社会へのプラスの影響を大きく発展（スケールアップ）させることが重要と考えます。

富士通はグローバルな社会的責任の実践のため、国連グローバルコンパクトの署名企業として「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の4分野10原則を支持しており、あらゆる社会的責任の実践に例外を設けることなく活動のレビューと改善に取り組みます。コンプライアンスについては、グループ全体でグローバルコンプライアンスプログラムを展開し、全世界の従業員一人ひとりがいかなる不正も許容しない企業風土（ゼロトレランス）の確実な浸透を推進しています。

そして、デジタル革新を通じて、「人」が中心の、より安全で豊かな持続可能な社会、ヒューマンセントリック・インテリジェント・ソサエティを、皆様とともに創っていきたいと思います。



富士通株式会社 代表取締役社長

田中 達也